

第152回 BA エグゼクティブサロン概要（5/19）

テーマ：「テクノロジーを活用したハイブリット介護経営」

講師：宮本 隆史（みやもと たかし）

社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 統括施設局長
特別養護老人ホーム フロース東糀谷 施設長

卓話概要：

介護のDXを推し進めるにあたり、技術の進歩だけではなく、人材面大きいです。
介護オペレーションにICTを導入しても人が使う「道具」といった側面が強く、技術サイドの方は技術面の拡張をメインにイメージされますが、それだけでは介護現場のDX化は難しいです。
そのような中で、ヒト、モノのハイブリット型が現時点では重要かと考えております。
今回は技術サイドの方達が対象だと思いますので、実態にそくし、善光会の取り組みをご紹介します。

略歴：

- ・ 2007年社会福祉法人善光会入社後、特養での勤務、現場のマネジメント業務に従事する。その後グループホームの立ち上げ、管理者を経て、新規特別養護老人ホームの立ち上げ、施設長を経て、現在善光会が運営する施設の統括施設局長を務めている。
- ・ 2009年より介護ロボットの導入、サイバーダインのHALの監修に関わり各メーカーの製品をどのように介護現場で利活用するのか研究を行う。
- ・ 2013年に社会福祉法人善光会内に「介護ロボット研究室」を設置、介護施設自らが介護ロボットの研究開発を行う取り組みを推進。
- ・ 2016年に介護施設での人工知能活用を目指し、「介護ロボット・人工知能研究室」に機能を拡張。
- ・ 2017年には施設運営や介護ロボット等の知見を提供するため「サンタフェ総合研究所」を設立。また、介護ロボット運用の専門資格である「スマート介護士」を創設。
- ・ 2018年からは、AMED事業を採択、スマート介護プラットフォームの開発に着手。
現在、社会福祉法人 善光会統括施設局長、特別養護老人ホーム フロース東糀谷 施設長



（以上）